

2023年

北海道地方 1月の天候

2023年2月6日
札幌管区気象台 気象防災部
地球環境・海洋課

概況

— 低気圧の影響を受けにくく、オホーツク海側を中心に多照 —

1月は冬型の気圧配置となる日が多く、低気圧の影響で広く雲に覆われる日は少なかったため、北海道地方の日照時間はかなり多くなった。オホーツク海側では、月間日照時間の平年比は多い方から、月降水量の平年比は少ない方から、それぞれ統計開始（1946年）以降第1位だった。

北海道地方：月平均気温は低く、月降水量は少なく、月間日照時間はかなり多く、月降雪量は平年並だった。

日本海側：月平均気温は低く、月降水量は平年並、月間日照時間は多く、月降雪量は平年並だった。

オホーツク海側：月平均気温は低く、月降水量はかなり少なく、月間日照時間はかなり多く、月降雪量は少なかった。

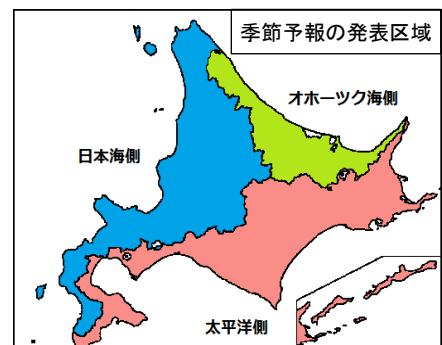
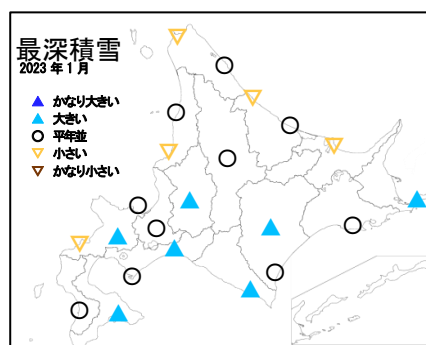
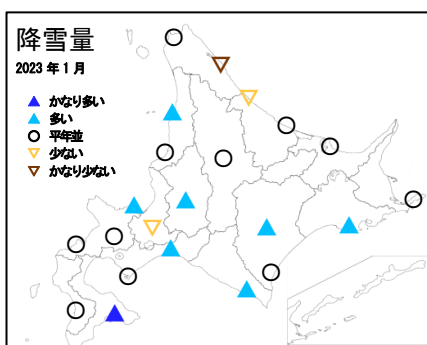
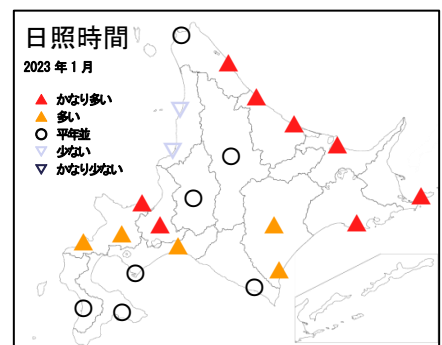
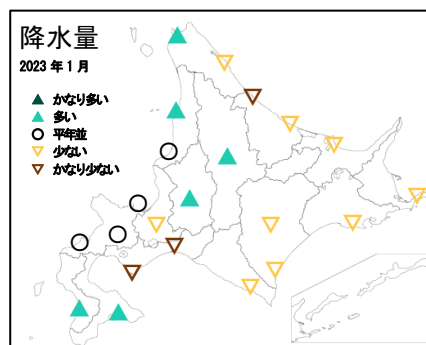
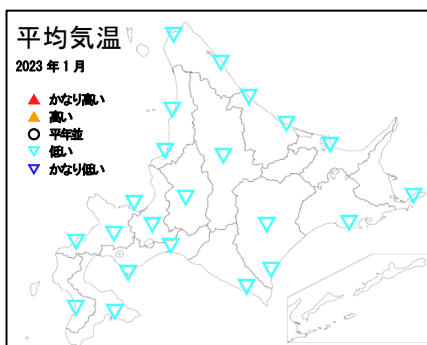
太平洋側：月平均気温は低く、月降水量は少なく、月間日照時間は多く、月降雪量は多かった。

上旬：冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で日本海側では雪の降った日が多かったが、オホーツク海側と太平洋側では晴れた日が多かった。太平洋側では、日照時間の平年比は多い方から、降水量の平年比は少ない方から、それぞれ統計開始（日照時間は1961年、降水量は1946年）以降第1位だった。

中旬：冬型の気圧配置は長続きせず、高気圧に覆われて広い範囲で晴れた日もあった。このため、日本海側とオホーツク海側では晴れた日が多かった。一方で太平洋側では、低気圧や気圧の谷の影響により雪の降った日が多かった。なお、13日には低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込み、57のアメダス観測地点で日最高気温が統計開始以降、1月として高い方から第1位となった。

下旬：冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で日本海側では雪の降った日が多かったが、オホーツク海側と太平洋側では晴れた日が多かった。オホーツク海側の日照時間の平年比は、統計開始（1961年）以降多い方から第2位だった。また冬型の気圧配置が強く寒気の影響を受けやすかったため、気温はかなり低くなり、24日以降複数のアメダス観測地点で日最高気温や日最低気温の低い方からの極値を更新した。

階級分布図



月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-1.2	-	79	-	118	++	105	0
日本海側	-1.1	-	108	0	116	+	107	0
オホーツク海側	-1.4	-	53	--	141	++	76	-
太平洋側	-1.1	-	56	-	109	+	117	+

旬の統計値(地域平均)

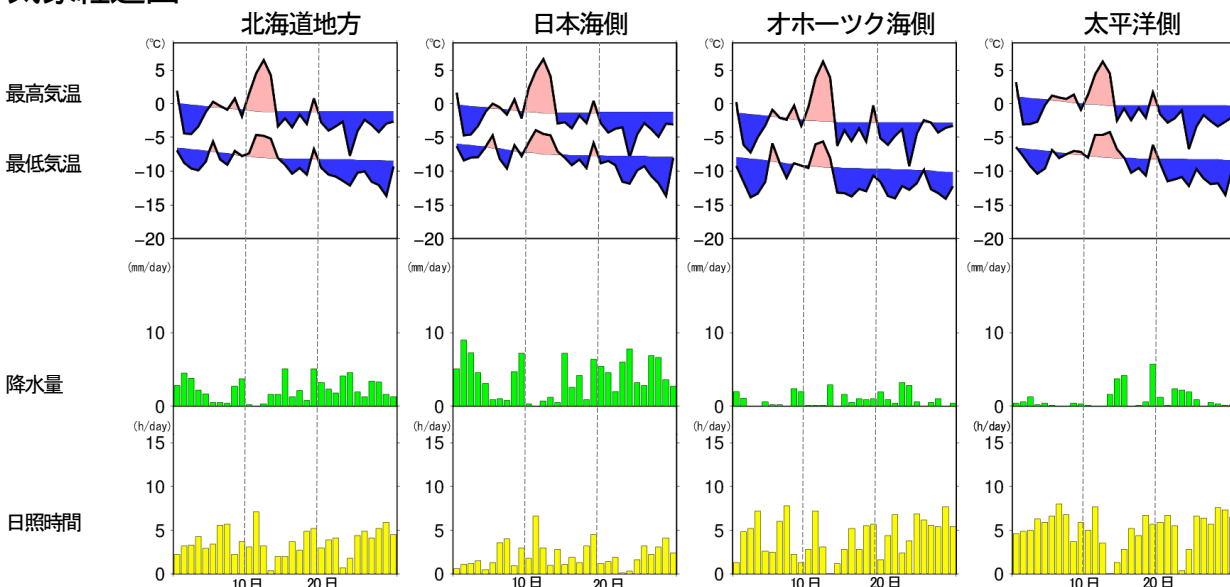
上旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-1.4	-	62	-	126	++	75	-
日本海側	-1.3	-	107	0	116	0	107	0
オホーツク海側	-1.9	-	44	--	146	++	71	-
太平洋側	-1.2	-	15	--	127	++	37	--

中旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.2	+	84	0	127	++	136	++
日本海側	+1.6	+	74	-	157	++	88	-
オホーツク海側	+0.3	0	53	-	119	+	77	0
太平洋側	+1.2	+	113	+	93	0	225	++

下旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-3.2	--	93	0	107	+	101	0
日本海側	-3.4	--	140	++	86	-	124	+
オホーツク海側	-2.6	--	61	0	154	++	79	0
太平洋側	-3.3	--	51	-	110	+	83	0

注)・数値は、地域内の気象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。
 ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991~2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991~2020年の観測値の低位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

気象経過図



月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間			降雪量			最深積雪		
	本年 ℃	平年差 ℃	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級	本年 cm	平年値 cm	階級	本年 cm	平年値 cm	階級
札幌	-4.4	-1.2	-	71.5	66	-	123.8	137	++	117	137	-	67	76	0
稚内	-5.7	-1.4	-	104.0	123	+	42.8	105	0	141	129	0	43	59	-
北見枝幸	-6.9	-1.4	-	38.0	50	-	111.4	147	++	78	138	--	69	81	0
旭川	-8.3	-1.3	-	87.5	131	+	78.5	104	0	120	125	0	73	72	0
留萌	-5.1	-1.0	-	91.5	96	0	41.0	85	-	174	165	0	54	74	-
羽幌	-5.2	-0.9	-	137.5	118	+	45.5	86	-	183	159	+	85	85	0
岩見沢	-6.5	-1.2	-	169.5	142	+	96.1	107	0	223	187	+	122	101	+
倶知安	-6.7	-1.3	-	189.5	103	0	60.2	128	+	275	253	0	193	155	+
小樽	-4.4	-1.3	-	134.0	97	0	98.5	155	++	185	157	+	90	92	0
寿都	-3.3	-1.0	-	115.0	96	0	37.0	136	+	162	146	0	50	61	-
網走	-6.5	-1.4	-	31.0	58	-	157.5	141	++	87	90	0	31	46	-
紋別	-6.6	-1.4	-	24.5	55	-	138.3	140	++	74	87	0	41	46	0
雄武	-7.4	-1.5	-	20.5	47	--	126.1	134	++	54	84	-	42	54	-
釧路	-6.3	-1.5	-	18.0	45	-	221.9	119	++	42	32	+	27	23	0
根室	-4.5	-1.1	-	16.0	52	-	181.4	117	++	46	43	0	28	21	+
帯広	-7.9	-1.0	-	21.5	53	-	199.0	106	+	49	52	+	64	57	+
広尾	-5.2	-1.0	-	41.5	58	-	186.6	112	+	81	83	0	55	71	0
室蘭	-2.7	-0.9	-	12.0	22	--	91.7	104	0	50	49	0	20	19	0
苫小牧	-5.1	-1.5	-	17.5	45	--	160.0	113	+	57	42	+	32	23	+
浦河	-3.3	-0.9	-	20.0	59	-	148.8	105	0	48	41	+	23	15	+
函館	-3.6	-1.2	-	89.5	116	+	102.4	99	0	139	91	++	47	34	+
江差	-1.2	-0.6	-	91.0	107	+	41.2	118	0	82	77	0	20	19	0

注) ・平年値は1991～2020年の30年間の平均値です。

- ・階級の++は平年よりかなり高い(多い、大きい)、+は平年より高い(多い、大きい)、0は平年並、-は平年より低い(少ない、小さい)、--は平年よりかなり低い(少ない、小さい)を示す。
- ・「) 」付きの値は欠測を含む。「] 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。
- ・「低い(少ない、小さい)」「平年並」「高い(多い、大きい)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない、小さい)」「かなり高い(多い、大きい)」と表現する。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
1月	月降水量(少ない)	第1位	室蘭	12.0 mm	22 %	14.5 mm (1983)	1923
	月間日照時間(多い)	第1位	雄武	126.1 h	134 %	123.6 h (1976)	1943
			網走	157.5 h	141 %	152.0 h (1990)	1904
			釧路	221.9 h	119 %	220.6 h (2008)	1910
			紋別	138.3 h	140 %	136.2 h (1986)	1956
			第2位	北見枝幸	111.4 h	147 %	118.4 h (1985)
小樽	98.5 h	155 %	104.9 h (1984)	1943			

※データは速報値であり、後日変更される場合があります。

お問い合わせ先

札幌管区气象台 気象防災部 地球環境・海洋課
TEL (011) 611-6174